



### 知っているようで知らない

## ～薬の保管場所と注意点～

保管の際に気をつけるべきは「**光・温度・湿度**」この3つに気をつければ、特別な薬以外は大丈夫です。



皆様は、処方薬や市販薬をどのように保管されていますか？

保管場所まではあまり気にしないかもしれませんが、薬にはそれぞれ適した保管方法があり、適切な環境で保管できていなければ、薬の品質が低下して効果が十分に得られないだけでなく、服用することでかえって健康に悪影響を及ぼす可能性もあるそうです。

そこで本号では、正しい薬の保管方法をチェックしてみたいと思います。

### <保管の留意点①> **高温・多湿・直射日光を避ける**

- 温度が上がりやすい暖房器具の近くや湿度が高くなりやすいキッチン・浴室の近く、直射日光が当たりやすい窓際などは保管場所には向いていません。薬の中にはビタミンB2のように、光に弱い成分を使用したものも多いためです。
- 梅雨の時期には水分を吸収して薬の成分が変化してしまうこともあるため、密閉できる缶などに乾燥剤を入れて保管するのも効果的です。
- 日中に車の中に長時間置いておくことも避けましょう。

### <保管の留意点②> **冷所保存の指示がある場合には冷蔵庫に保管する**

- 病院や薬局から薬をもらう時に、保管方法について特別な注意や指示が無ければ、基本的には室温保管と考えて良いでしょう。
- シロップなどの液剤や目薬、坐薬、インスリン注射薬は冷蔵庫に保管しましょう。
- 冷蔵庫の奥の方は冷気が直接当たりやすく凍結して薬の成分が変化してしまう可能性があるため、**ドアポケット付近**が良いでしょう。

冷所	1℃～15℃
常温	15℃～25℃
標準	20℃
室温	1℃～30℃

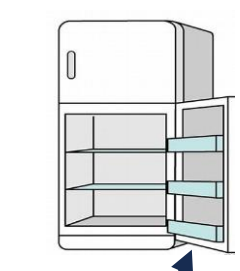
(参考：医薬品の規格基準書“日本薬局方”による定義)

### <保管の留意点③> **薬の容器の入れ替えはしない**

- 薬の容器や包装シートは、薬の品質を保つためのものでもあります。
- **例**【目薬】遮光袋という色のついた袋に入れて光をさえぎります。
- 【錠剤】包装シートに入れて湿気や光などの影響から守ります。
- 入れ替えの際に雑菌が混入する危険や中身や使用方法が分からなくなり、誤飲を招く危険があります。

### PTP シートの誤飲に注意!!!

現在のPTP シートは誤飲を防ぐためにミシン目（分割線）をあえて一方向のみとし、1錠ずつに切り離せないようになっていますが、ハサミなどで切り離すと切り口が尖り、誤って飲み込むと、喉や食道、腸などを傷つける、穴を開けるなど重大な傷害を招く恐れがあります。





## <保管の留意点④> 薬以外のものと区別して保管する

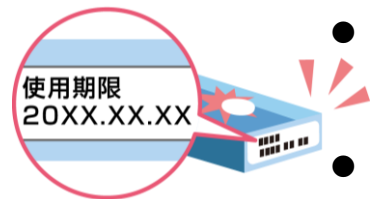
- 殺虫剤や防虫剤などと一緒に保管すると、間違っ飲んでしまう危険があるため、救急箱など、薬だけを保管する場所を決めましょう。
- 処方された薬の家族間での誤飲防止のために、薬は個人ごとにまとめておくと安心です。

## <保管の留意点⑤> こどもの手に届くところに置かない



- 過去の厚生労働省のデータでは、こどもの誤飲事故の約17%が医薬品との報告があります。
- こども用の甘いシロップを“おいしいもの”と認識して、自ら誤飲してしまうこともあるようです。
- こどもが服用すると重い中毒症状を引き起こしかねない薬もあるので、十分に注意しましょう。

## <保管の留意点⑥> 古い薬は処分する



- 市販薬については、外箱などに記載された使用期限を守りましょう。なお、その期限は未開封の状態適切に保管していた場合に限られます。
- シロップや目薬は特に変質しやすい薬のため、開封後の保管方法には特に留意しましょう。
- 処方された薬は処方時に指定された日数が使用期限です。使わずに残った薬があっても、使用期限を過ぎたものは迷わずに処分しましょう。



### 効かないだけじゃない！本当は怖い、期限切れの薬

「効きが悪いだけで大丈夫」とか「一年過ぎた薬を使ったことがあるけど効いたよ」という声もありますが…

薬の効果がなくなったり、分解されて毒性のある物質に変化し、服用することで別の症状や病気を引き起こす恐れがあります。もし、古い薬を気づかず使用してしまった場合には、体調に異変がないか、しばらく様子を見る必要があります。

### 残薬はあげていいの？ ～薬の譲渡について～

医師は体重や体表面積、年齢、血液検査など、さらには、患者さんの生活リズムなども考慮して適切なお薬を選んで処方している場合もあります。ですから、相手によかれと思ってあげた薬が、その人によって効いたり効かなかったり、副作用だけが出てしまったり、かえってマイナスな影響を与える可能性も少なくありません。残薬とはいえ、あなた自身のためだけのお薬です。他人に渡すのは絶対止めましょう。

**特別に保管条件が決められている薬は、しっかり守って保管しましょう。**

**「期限内であれば安心、期限を過ぎたものは危険」**これだけ覚えておけば、「この薬って使っても大丈夫？」となった時も安心できますね。

弊社は損害保険会社7社、生命保険会社8社、少額短期保険会社1社を取扱い、お客様の企業経営から個人のライフプランまで総合的なリスクマネジメントをご提案いたします。

現在弊社以外でご契約の保険の証券診断も承りますので、お気軽にご相談ください！

弊社では、募集品質の改善・向上への取り組みの一環として、お客様から忌憚ないご意見やご感想を伺っております。是非ともご協力ください！

“お客様アンケートのサイト”

[アンケート-東京セントラル\(tokyo-central.co.jp\)](http://tokyo-central.co.jp)



◆弊社ホームページで「TOKYO CENTRAL NEWS」のバックナンバーを掲載しておりますので、是非ともご参照ください。